

I C T機器活用実践事例集（学習指導案作成用）

中学校第3学年	教科	外国語科英語
単元名	卒業スピーチ	
授業者	松村 健	
本時の目標	キング牧師のスピーチを聴いて、スピーチの内容を調べて理解するとともに、効果的なスピーチにはどのようなことが必要なのかを知る。	
本時を選んだ理由	<p>次の2点がタブレットを活用する授業に資すると考えた。</p> <p>1. キング牧師のスピーチ動画を各々で見ることにより、生徒が見たい部分を自分で選択して視聴することができ、声の大きさや強弱等工夫することで迫力あるスピーチになっていることを目と耳で理解できる。</p> <p>2. キング牧師のスピーチの内容を、インターネットを活用して調べることができる。</p>	
前時までの授業の流れ	スピーチの目的、対象、方法について確認し、卒業スピーチの内容をマッピングしている。	

学習展開

学習の流れ	主な学習活動		I C T活用の留意点
導入	復習 本時の学習活動の確認	<ol style="list-style-type: none"> ①タブレットにある復習カードを生徒各々が選び、ペアで音読練習する。 ②写真を提示して、ペアでプレゼンテーションする。 ③めあての提示 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">スピーチの内容を理解して、どうスピーチをするべきかを考えよう。</div> 	【タブレット】 共有フォルダ内の復習カードを利用させる。
展開	課題提示 課題解決①	<ol style="list-style-type: none"> ①キング牧師のスピーチを視聴する。 ②キング牧師について確認する。 ③小グループでキング牧師のスピーチ内容をインターネットで調べる。 ④キング牧師のスピーチ内容を全体で確認する。 ⑤キング牧師のスピーチを再度視聴し、次の点について気付きを交流する。【声の大きさ、間、強弱、非言語】 	【タブレット】 キング牧師のスピーチは何度も視聴させるとともに、調べ学習の際には、机間指導を行って、目的に応じた学習になっているかどうかを確認する。
終末	まとめ	<ol style="list-style-type: none"> ①どのようにスピーチをするべきかをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">・伝えたい部分は声を大きくしたり、語を伸ばして読んだりして、イントネーションを工夫する</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">・アイコンタクトは聴き手全体に向ける</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">・必要に応じてジェスチャーを入れてもよい</div> ②I have a dream. を実際に練習する。 ③次時の学習活動を確認する。 	【タブレット】 I have a dream.を動画撮影し、自分の発音や非言語の部分を確認できるようにする。

(成果)

(課題)

(授業後の生徒の振り返り)

I C T機器活用実践事例集（学習指導案作成用） 枠の例

中学校第 学年	教科	
単 元 名		
授 業 者		
本 時 の 目 標		
本時を選んだ理由		
前時までの授業の流れ		

学習展開

学習の流れ	主な学習活動	I C T活用の留意点
導入	① ②	【 】
展開	① ② ③ ④	【 】
終末	① ②	【 】

(成果)

(課題)

(授業後の生徒の振り返り)

【参考資料】

平成26年度 文部科学省委託 「I C T活用ステップアップ映像集」利用ガイド

I C T機器を活用した授業の実践 授業作りに向けてできそうな I C T活用 例

教科名	単元名	授業の目標	I C T機器の使用方法
体育	陸上運動 ハードル走	インターバルで得たスピードで踏み切って、余分なブレーキをかけずそのままのスピードで第1ハードルを走り越える方法や練習の場を考える。	<p>【インターネット】 から得た「模範的なハードリングでの動き」の動画を【大型提示装置】で視聴し、インターバルで得たスピードで踏み切って、余分なブレーキをかけずそのままのスピードでハードルを走り越えるためのポイントを確認している。</p> <p>【タブレット】 自分たちのハードルを跳び越す動きを撮影させ、より良い動きができるよう、課題を見つけたり、話し合ったりさせる。</p> <p>【タブレット】 始めと終わりの自分たちのハードルを跳び越す動き比べ、授業を振り返らせる。</p> <p>【大型提示装置】 自分たちのハードルを跳び越す動きを撮影させ、より良い動きができるよう、課題を見付けたり、話し合ったりさせたことを、大型提示装置に写し、話し合ったことや考えたことを全体で交流させる。</p>

I C T機器を活用した授業の実践 授業作りに向けてできそうな I C T活用 枠の例

教科名	単元名	授業の目標	I C T機器の使用方法

